

## 「高齢者と運転免許証」

戦後日本は高齢者の方々に支えられ、めざましい経済成長を遂げました。そのため車は、高齢者にとって仕事を頑張ってきた証、誇りの一つであり運転免許証を返納することはさびしく辛いことです。

近年、「ブレーキとアクセルを踏み間違えて、お店に突っ込んだ」「高速道路に誤って入り逆走して正面衝突した」「運転中、突然気を失って歩行者に突っ込んだ」というような高齢者による事故が相次いでいます。警察庁の調べでは2008年の高齢ドライバーによる交通事故発生件数は6840件、事故全体に占める高齢ドライバーの事故割合は11.1%でしたが、2017年は事故件数が5876件と減ったものの、事故割合は17.9%と逆に跳ね上がっています。高齢者の運転免許保有者数は2016年末時点で513万人と、10年前から比べると倍増しています。ここ10年以上75歳以上の高齢者による死亡事故は年間400件超で推移しており、これは見過ごせる問題ではありません。

### ●高齢者が事故を起こす要因

視力が弱まることで周囲の状況が見えづらくなり、適切な判断ができなくなる。反射神経も衰えるので素早い反応ができずに慌てブレーキとアクセルを踏み間違え。認知症のため色彩の見分けがつかなくなり、集中力が散漫になる。信号があることさえ記憶から抜け落ち一時停止しない。

### ●家族が危ないと気づくポイント

①よく知っている道なのに迷う ②軽い事故を繰り返し起こす ③道路標識にぶつかる ④道幅があるのにボディをこする ⑤車庫入れがうまくできない ⑥信号無視を繰り返す ⑦今までできていたのに、セルフで給油ができない

高齢者が歳を重ねながら車の運転とどう向き合うのか、本人・家族だけでなく周囲の人々や行政も真摯に取り組む重要な課題です。

### ●警察の対応策

免許の自主返納を推奨→2002年から運転経歴証明書を交付（金融機関で身分証明書として使用できる。タクシーや電車、バスなどの交通機関の利用料が割引になる。

出典：福田晃広 清談社 DIAMND online

### ●蒲郡市高齢者運転免許自主返納支援事業（蒲郡市公式ホームページより）

蒲郡市では高齢者による交通事故の未然防止を図ると同時に、高齢者全体の交通安全意識の高揚を目的として、運転免許証を自主返納される70歳以上の市民の方を対象に記念品を贈呈しています。

記念品：①名鉄バス東部回数券 ②形原地区支線バス「あじさいくるりんバス」回数券 ③三河木綿小銭入れとハンカチ（詳細はホームページをご覧ください）

【認知症でお困りの方はお気軽にご相談ください】



【連絡先】 蒲郡市民病院：代表電話 0533-66-2200 認知症看護認定看護師 黒柳